

暮らしの お役立ち情報

2020
2

暮らしのエッセイ

音質と音量が伴った 名器ストラディバリウス

ヴァイオリンの名器として知られている「ストラディバリウス」は製作者の名前が由来。ストラディバリウスが作られたのは17~18世紀で、現在でも約600挺(ちょう)が残っていると言われています。他にも有名なヴァイオリンはありますが、17~18世紀当時は大きな舞台で演奏することを想定していなかったので音量の意識が低いなかで、ストラディバリウスは音質・音量ともに申し分なく制作されたために現代にも通用し、多くが名器として残されていると言われています。



暮らしのエッセイ

ステーキを美味しくする方法

- ステーキはやわらかく美味しいいただきたいですね。お肉には白い線=筋繊維があります。筋繊維は長く、硬いのでそのまま調理すると硬く感じます。
- お肉を焼く前に繊維の方向を確認し、その方向に対して直角に包丁を入れましょう。こうすることで長い筋繊維が切斷され、硬くなりにくくなります。



やさしく包む 便利に持つ

竹の皮弁当

竹の皮は竹の成長と共に脱皮する様に一皮一皮はがれていきます。雨後の竹の子と言い伝えられる通り、水分を大量に吸いながら急速に成長します。通気性に富み、外部から保護する役割とともに纖維質で強度もあります。現在では、頻繁には使われていませんが、おにぎりなどを竹の皮で包んだ「竹の皮弁当」もあります。竹の皮だけも市販されているようです。竹の皮は、自然の恵みが生んだ便利な包装資材と言えますね。



赤ちゃんをやさしく包む

赤ちゃんの体をやさしく包むための布「おくるみ」。

おくるみの効果は赤ちゃんを抱っこしやすくしてくれるだけではなく、赤ちゃんはおくるみで包まれることで、お腹の中にいたときと似た姿勢になり安心感が得られると言われています。

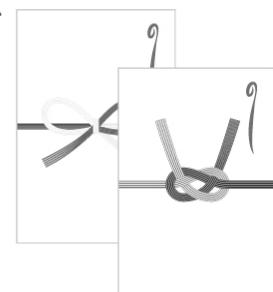
生後数ヶ月後に「おくるみを卒業」しても、シンプルな形のおくるみは、ブランケットやタオルケットとして掛けて使えますね。



スーパーで買い物の際にエコバッグなどを持参して使われる方も増えてきました。
身の回りの「包む」「持つ」に注目してみました。

祝儀袋に包む

祝儀袋(金封、のし袋)の起源は、日本古来の神道において、神様に奉納する物品を包んだことが発祥と言われています。神様へのお供え物として農作物や魚介類を束ねるため、和紙で包み、上からいくつかの「こより」を束ねたもので結ぶ形をとっていたことに由来にするそうです。その文化が、やがて時代を経て、贈答品を包む文化や祝儀袋にかけられている水引の文化になったと言われています。



そもそもトートバッグとは

そもそも「トート」とは、アメリカの俗語、英語で「tote」、「運ぶ・背負う」という意味があります。

昔、アメリカで冷蔵庫を冷やすのに大きな氷を使用していた時代には、大きな氷を運ぶために丈夫なバッグを使っていました。これがトートバッグの由来、起源という説があります。

現在では素材やデザイン、サイズなどさまざまなトートバッグがありますが、持ち手が2本で荷物をたくさん収納できることが一般的にトートバッグの定義と言われています。

